

心豊かに安心して暮らせる地域社会の実現

地域に密着した協同活動の取り組みを強化し、支店を拠点とした食農教育や地産地消等のJAくらしの活動を展開していきます。

●くらしの活動の計画化と実践

現在取り組んでいる食農教育や組織活動等のくらしの活動を、対象者と活動内容、主体的実施部署を整理、重点化したうえで事業計画に盛り込みます。

●食農教育活動の推進

農業体験等を通じて地域農業の役割や「食」と「農」のつながりについて理解を進め、地場産農畜産物の消費拡大や地域に根ざした健全な食生活の実現を図るため、行政・教育委員会・組合員等と一体となって食農教育活動に取り組みます。

●JA健康寿命100歳プロジェクトの取り組み

健康づくり生きがいづくりを目的とした「JA健康寿命100歳プロジェクト」について、女性部中心の活動から男性、地域住民へ対象を拡大した活動を進めます。

●JA生活支援事業の実施と地域支援事業の受託促進

高齢者向け家事援助、通院介助等有償のJA生活支援事業やミニデイサービス等助け合い組織のボ

ランテニア活動をします。また、認知症施策への対応として、認知症サポーター養成に取り組み、安心して暮らせる地域社会づくりに貢献します。



↑ミニディを通じて地域住民と交流を深める

財務基盤強化と組合員参画による組織基盤の確立

各JAの「自己資本増強計画」の実践により財務基盤の安定化を図り、組合員の負託に応え続ける経営を確保します。

●JA組織再編の推進

JA経営を取り巻く経営環境が一段と厳しさを増す中、地域に根ざした協同組合として、地域農業の振興と地域に貢献していくには、盤石な財務基盤を確保し組合員の

負託に応え続ける経営を確保することが必要になります。

このため、合併に向けた協議に基づき合併を推進し、第27回秋田県JA大会決議の完遂を目指します。

●農業メインバンク機能の強化

個人・兼業農家等にはJAが中心となり、農地集積化・法人化や産地形成等、営農・経済部門と連携した応援を展開してサポートするとともに、県営営農センターとも連携して、大規模農業法人等の担い手金融支援機能を強化します。

●共済事業の地域貢献活動

地域における交通安全対策の取り組みとして、高齢者向けには交通安全落語を取り入れた交通安全教室を、若年者向けには交通安全キャラバンを、また、幼児向けには超神ネイガー交通安全教室を開催し、交通安全対策活動を継続して実施していきます。



↑交通ルールの理解を深める交通安全教室

結集軸としての

「新たな中央会」の構築

組合員の組合への参画意識を高めるため、協同組合の原点である組合員の意思反映・運営参画の推進を図ります。

●組合員のメンバーシップの強化

組合員構成の変化や世代交代が進む中、多様化した組合員のニーズを把握し、組合員の事業利用の拡大とともに、地域農業と協同組合の理解を深める活動を展開します。

そのうえで、組合員組織の活性化により、組合員参画の「場」をつくり、組合員の意思反映を進めます。

また、准組合員を「農業や地域経済の発展を共に支えるパートナー」と位置づけ、「農業振興の応援団」として積極的に参加する取り組みを促します。

●「支店を拠点にした協同活動」の実践

活動を通じて「おらほのJA」という意識を呼び起こし、定着させ、支店全体として地域とのつながりを深めていくため、JA事業利用や様々な活動を通じてJA役員と地域の組合員・住民とのふれあいの場づくり、さらには、活動の企画段階からJAの広範かつ多様な組合員及び組織の関わりにより、共に主体的に取り組んでいく仕組みづくりを進めます。